

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	司法研究科
大項目	1 運営と自己改革
中項目	
小項目	1.0.1 法曹像の周知
要素	養成しようとする法曹像を明確にし、関係者等に周知していること。
小項目	1.0.2 自己改革
要素	自己改革を目的とした組織・体制が適切に整備され機能していること。
小項目	1.0.3 情報公開
要素	教育活動等に関する情報を適切に公開し、学内外からの評価や改善提案に適切に対応していること。
小項目	1.0.4 法科大学院の自主性・独立性
要素	法科大学院の教育活動に関する重要事項が、法科大学院により自主性・独立性をもって意思決定されていること。
小項目	1.0.5 学生への約束の履行
要素	法科大学院が教育活動等の重要事項について学生に約束したことを実施していること、実施していない場合には合理的理由があり、かつ適切な手当等を行っていること。
小項目	1.0.6 特徴の追求
要素	特徴を追求する取り組みが適切になされていること。

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 外部評価システムを新設する	→同窓会、学識経験者を含む学外者による評価体制の構築	C
2. 人事計画を含めた将来構想を策定する	→将来構想委員会の設置と長期計画案の策定	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

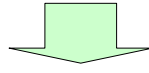
《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目1.0.1	(法曹像) 豊かな人間性と責任感を持ち、専門的知識を通じて、社会に貢献しうる法曹 (現状説明) 本学が目指す法曹像は、HP、パンフレット、入学時のガイダンス、オリエンテーションなどを通じて学生に周知しており、HP、パンフレット、学内外の説明会を通じて社会にも周知している。
☆ 小項目1.0.2	(現状説明) 自己評価・FD委員会(月に1回開催)を中心として、種々の取り組み(授業評価アンケートの実施・分析・結果公表、各学期毎の授業参観週間、FDニュースの発行、外部講師を招いての講演会等)を行っている。
☆ 小項目1.0.3	(現状説明) HP、パンフレット、説明会などを通じて法科大学院の基本情報は常に公開されている。学生に対しては掲示、各種ニュース、オフィスアワー、担任制度などを通じて情報公開と意見交換が図られている。学生の意見聴取のシステムとしては意見箱制度やクラス連絡委員制度もある。
☆ 小項目1.0.4	(現状説明) 法科大学院の教育・運営に関する基本事項は教授会(月に1回開催)と拡大教授会(2, 3ヶ月に1回開催)で議論し決定されており、意思決定の自主性、独立性が保障されている。
☆ 小項目1.0.5	(現状説明) 学生に対して約束したカリキュラム、学習サポートシステム、奨学金制度などは履行している。
☆ 小項目1.0.6	(現状説明) 企業法務、国際性、人権擁護などを十分に考慮したカリキュラムと体制(実務家重視)となっている。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目1.0.1	
小項目1.0.2	
小項目1.0.3	
☆ 小項目1.0.4	
小項目1.0.5	
小項目1.0.6	
その他	



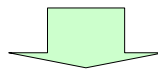
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目1.0.1	
小項目1.0.2	
小項目1.0.3	
☆ 小項目1.0.4	
小項目1.0.5	
小項目1.0.6	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目1.0.1	
小項目1.0.2	
小項目1.0.3	
☆ 小項目1.0.4	
小項目1.0.5	
小項目1.0.6	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目1.0.1	
小項目1.0.2	
小項目1.0.3	
☆ 小項目1.0.4	
小項目1.0.5	
小項目1.0.6	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価推進委員会からの評価＞（実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室）

- 「豊かな人間性と責任感を持ち、専門的知識を通じて、社会に貢献する法曹」の養成を目指した教育を行っていることが、さまざまな機会や手段を通じて発信されています。
- 自己改革のための体制が整備されています。
- 外部評価の導入および将来構想の検討が中期的な目標とされていますが、それらの達成のための努力が期待されます。
- 自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかり易く説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、2008年度の認証評価報告書を参考にされて、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。
- FD委員会が月1回定期的に開かれていることは大変評価できます。今後も継続されることを期待します。
- ホームページの構成は適切で、見やすく、情報発信は適切です。
- 法曹像の周知について努力されています。今後はこの周知がどれほど浸透しているか、検証の方法を探ることも必要かと思えます。
- 2008年度の認証評価の報告書では、学生への約束の履行において「不開講科目や少人数教育の理念に反する受講者数の科目をなくす」との記述をされていますが、改善すべき事項にあげる必要はありませんか。
- 2008年度の認証評価の報告書では、自己改革において「外部委員を招いて意見を聞く」との記述がありますが、検討の進み具合はどうでしょうか。現状説明に講演会の記述がありますが、内容などについて説明をお願いします。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし